



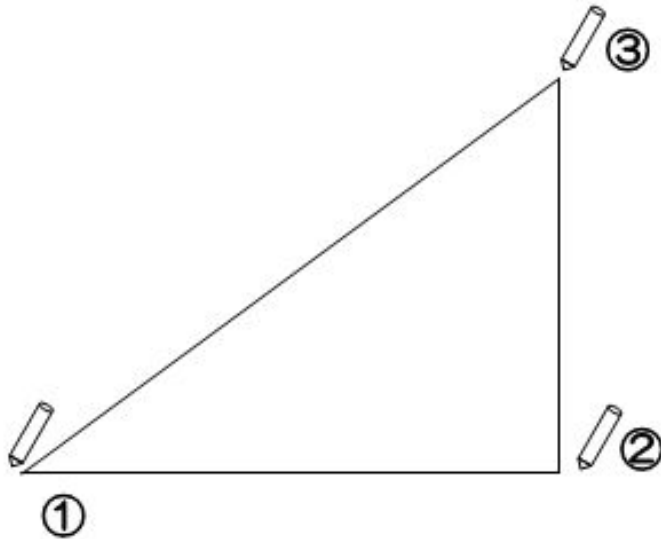
# 機能操作マニュアル

3) 敷地の設定のツールボックスの[辺ツール]



をクリックします。これで三斜入力を行う準備ができました。

図面上で適当に三角形を描いていき、終点 戻ってくると、三角形の数値設定画面が表示されます。



三角形の設定	
名前:	高さ:
S1	辺a
三角形のパラメータ	
辺a	12850
辺b	15800
辺c	20366
面積:	101.515
<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="OK"/>	

4) 3 辺の数値をそれぞれ入力します。

例として以下の数値を入力します。

辺 a 12850

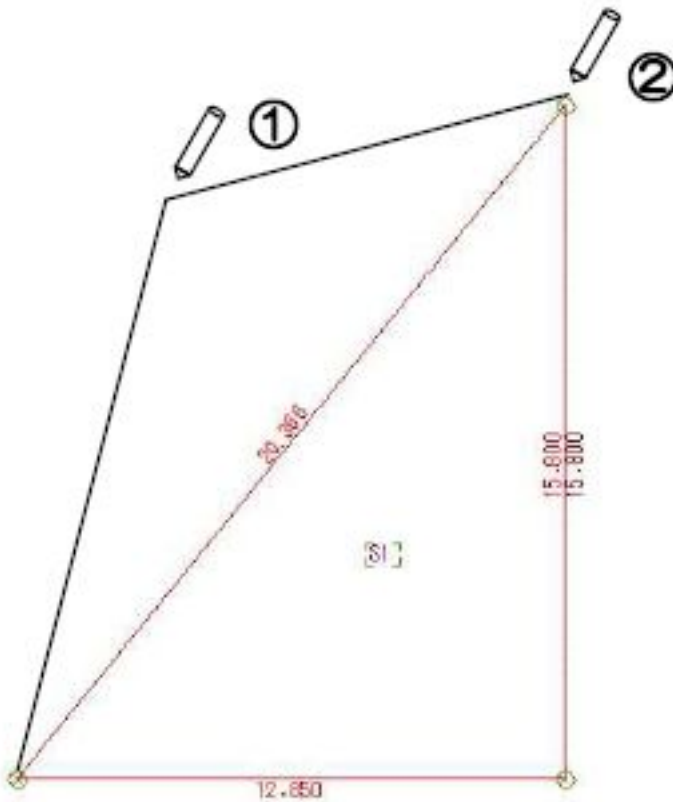
辺 b 15800

辺 c 20366



5) [OK]ボタンをクリックすると、[S1]という名称の三角形が入力され、終点から次の三角形を描くための線が出ている状態になりますので、次の三角形を描きます。

# 機能操作マニュアル



6) 先ほどと同じように三角形を作図します。今回3 辺のうち1 辺はすでに数値が決まっているために、2 辺の設定になります。

ポイント でクリックすると、三角形の数値設定画面が表示されます。

7) 辺の数値をそれぞれ入力します。例として以下の数値を入力します。

辺 a 20366

(三角形[S1]の辺 c として設定されているため変更不可)

辺 b 18916

辺 c 3667

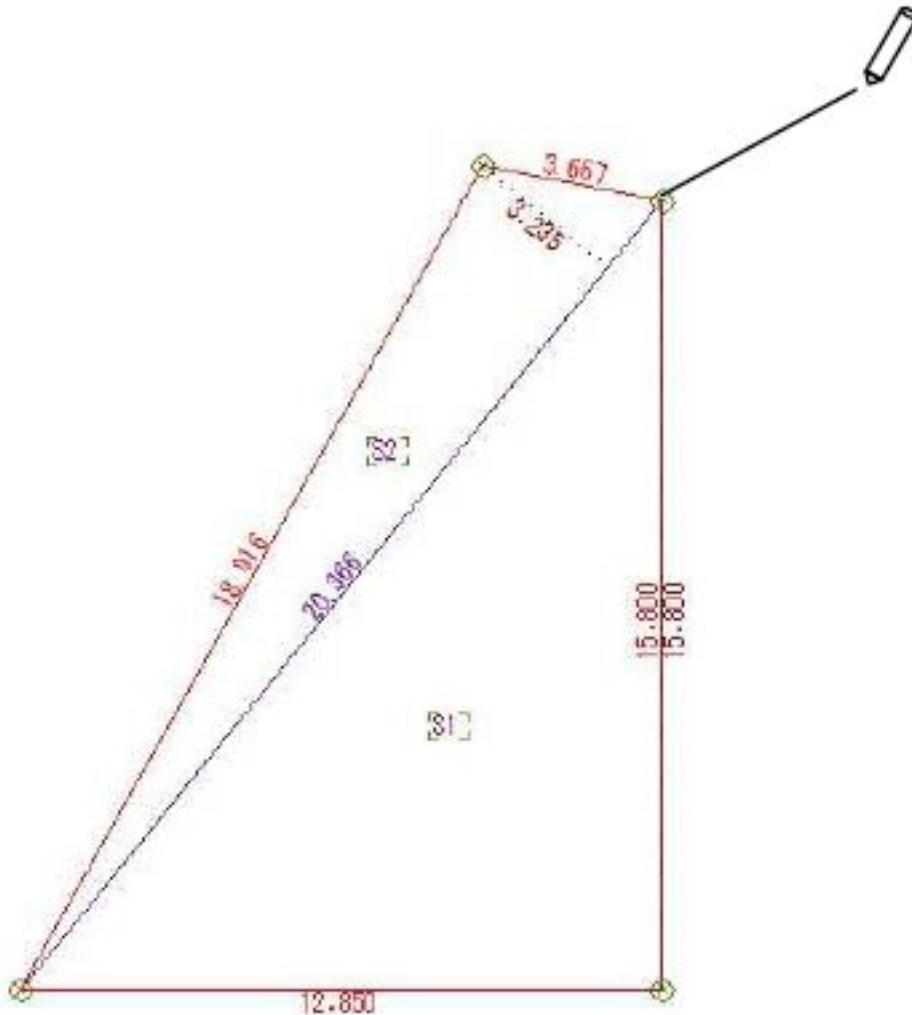
三角形の設定	
名前:	高さ:
S2	辺a
三角形のパラメータ	
辺a	20366
辺b	18916
辺c	3667
面積:	32.937
キャンセル	OK


8) [O K]ボタンをクリックすると、[S2]という三角形が入力され、終点から次の三角形を描くための線が出ている状態になりますが、

# 機能操作マニュアル

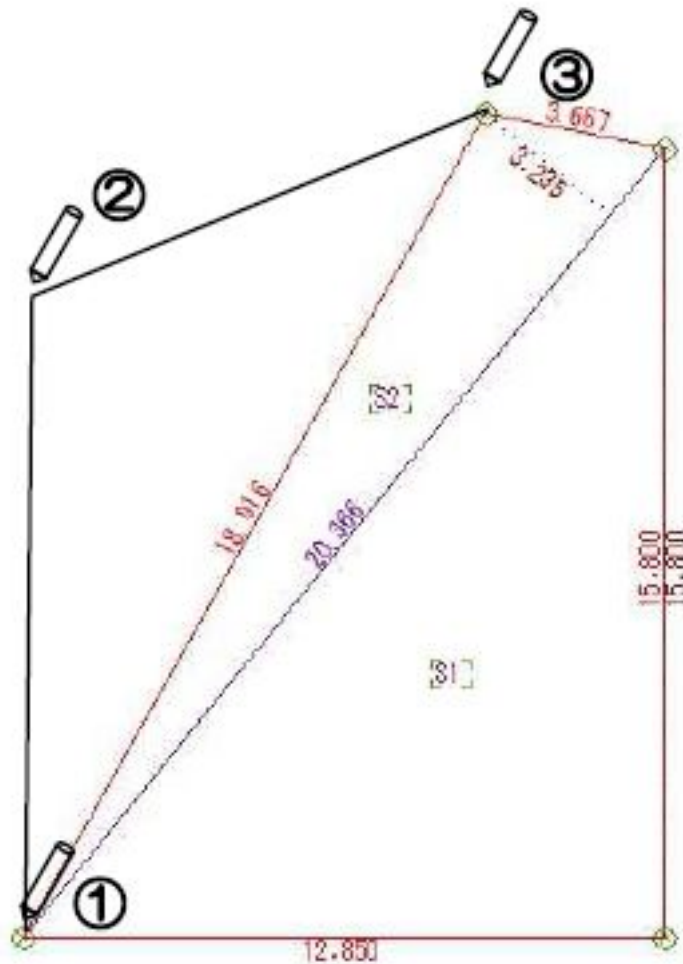
次の三角形は[S2]の左隣に入力するため、今のポイントからでは次の三角形を描くことができません。

ここで一旦入力を中止します。マウスの[右クリック]-[キャンセル]をクリックします。これで三角形の入力が中止されます。



- 9) 敷地の設定のツールボックスの[辺ツール  ]をクリックします。  
3つ目の三角形の始点を から順に と入力します。

# 機能操作マニュアル



10) ポイント をクリックすると、3つ目の三角形の数値設定画面が表示されます。

辺の数値をそれぞれ入力します。例として以下の数値を入力します。

辺 a 18916

(三角形[S2]の辺 b として設定されているため変更不可)

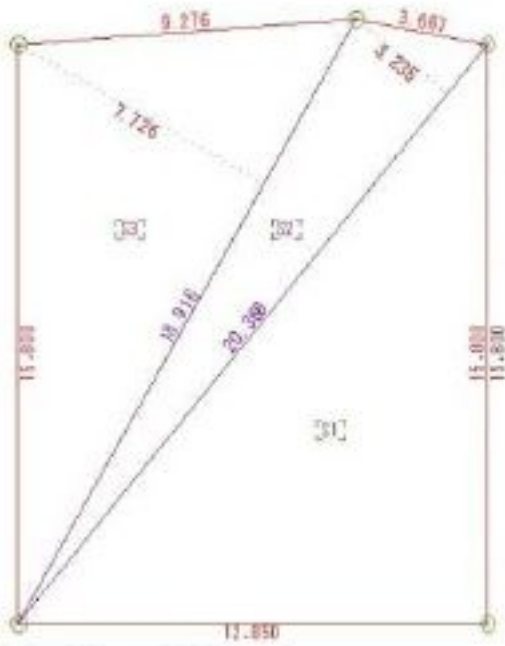
辺 b 15800

辺 c 9276

三角形の設定	
名前:	高さ:
S3	辺a ▼
三角形のパラメータ	
辺a ▼	18916
辺b ▼	15800
辺c ▼	9276
面積:	73.075
キャンセル	OK

11) これで敷地に必要な三角形の入力が終わりました。マウスの[右クリック]-[キャンセル]をクリックし入力を中止します。

# 機能操作マニュアル



## 敷地外周線の表示

図面上の寸法や[S1][S2]の表示を見えなくし、敷地の外周線のみの表示に切り替えます。

1) 敷地の設定のツールボックス

」の[輪郭線の表示/非表示]



]をクリックします。敷地の外周線のみの表示に切り替わります。

敷地の入力は以上です。三斜入力した際の、寸法は敷地の設定のツールボックスの[輪郭線の表示/非表示]を

クリックすることで、いつでも表示状態に切り替えることができます。

一意的なソリューション ID: #1027

製作者: 藤田

最終更新: 2019-04-18 16:04